



令和3年度立川市協働のまちづくり推進事業補助金助成事業
～でこぼこっ子&保護者&先生をつなぐ架け橋に～



キラリっ子ファミリーカフェ通信

Vol.25

2021 12 21 発行

特別支援教室キラリとは別団体です！

発行元…市民団体キラリっ子ファミリーカフェ 連絡先：kiraricafe2017@yahoo.co.jp

考えてみよう！でこぼこっ子も幸せに生きるまちづくりワークショップ 開催しました！

世界こどもの日である 11 月 20 日の翌日「発達にでこぼこがある子どもたちも、幸せに生きることができるまちづくりをみんなで考えてみよう！」というワークショップを開催しました！
保護者だけでなく、支援者、地域の方、市議会議員さん、行政の方…いろんな立場の方たちが集まり、でこぼこっ子のことを知ることから始めて次に「こんなことに困ってます、苦しんでいます」というアンケート結果の声を聴き…そこからみんなで話し合っ、たくさんの「こうなればいいな」が生まれました！
そのうちの一部をご紹介します。

親が少しでも休めるように、
子どもの預け場所や、
おしゃべり場がほしい！

親も子も責めないで！
自己肯定感が高くなるように
ほめてほしい！

相談したい時、すぐに
気楽に話せる相談相手や
窓口がほしい！

給食のメニュー、授業、勉強の仕方（鉛筆の
代わりにタブレットなど）、先生、
授業を受ける場所、ペース、服装や髪型…
学校に関する様々なことを、子どもが自由に
選択できるといいな！→ワガママじゃなく
て、子どもの特性に寄り添ってほしいから



学校に、息抜きできるスペースがほしい！
例えば和室とか。
↓とても疲れやすい、ガヤガヤしてるのが
苦手な子がいるから。

どんなにがんばってもできないことは
無理に やらせないでほしい。
その子の個性を尊重して
得意を伸ばす教育をしてほしい！

地域の大人たちみんなで子どもたちを見守って
ほしい…発達にでこぼこがある子どもたちに
ついて知ってほしい、理解してあたたかく見守って、
味方になってほしい。

次回おしゃべり会…1月18日(火) 10～12時 子ども未来センター
〈問〉立川市子ども家庭支援センター042-528-6871



ブ
ロ
グ

記録：A～E グループ参加者が書いたそのまますをテーマ別に掲載しています。（○は参加者からのいいね！☆は超いいね！！）文字で見ると批判に見える記述があるかもしれませんがそうではなく、参加者それぞれが立場が違いう中、意見の言いやすい空間の中で、率直・建設的な対話が行われました。

<子育て支援>

G				○	☆
A	親も子もサポートしてくれる レスパイトがほしい！			18	2
	子育て広場の多様性	子育て広場 野外であそべる場があるといいなー		8	
D	近くにいつでもだれでも なんでも話せるところ	地域で子育てするしくみ	小学校区に一つ子育てひろば	5	
			地域全員で支えられる仕組み	4	
			冒険遊び場プレーパーク常設	14	1
		お母さん同士の交流, 気軽な相談相手 ・ピアカウンセラー可 ・手続きがいらない ・教育相談は予約に時間がかかる→スムーズになる	相性のいいカウンセラーと出会いたい	17	
B	親も子もホッとできる安心できる居場所を (無料のカフェ)	親子の相性もある、親の想像を超える子もいる。親を責めないでほしい！		6	
		親も子も自己肯定感が高くなるようにほめてほしい！		5	
		保護者がいつでもグチを聞いてもらえるカフェ		4	
		家庭の中で子どもとの関係に行き詰った時レスパイトできる居場所		8	
		子どもと一緒におしゃべりしたりおやつを食べたりして自由に楽しめる居場所		5	
		カフェに進路についての情報を伝えてもらえるコーナー		3	
	必要な支援施設をいつでも利用できるように	困り具合に合った放課後デイにいつでも入れるといい(今はなかなか難しい)		6	2
E	一元化された相談窓口 (14)	どこか一か所に相談したらすむような流れがあると負担が減るのにな		8	
		本人も含めてよりよくしていくための話し合いの場があってもいいのでは			
		人材育成…相談したいときにいつでも相談できる窓口がほしい		2	
	居場所(親の休み場所レスパイト等 子どもの居場所)と 見つけるためのお金制度 (1, ☆1)	送迎やレスパイトお願いできるシステムがあったらいい		6	
		親が休みたいときに安心して休める場所がほしい！		4	
		子育てにはお金がかかる！ので支援金がほしい		6	
		障害がある人たちもお給料がたくさんいただきたい		7	

E	子育てして困ってきた→「発達障害について学ぶ」というより、皆が学ぶ機会があったほうがいい。自分の子どもの気づきにもつながるから。	8	
C	相談窓口を一つにしてほしい	6	5
	親の落ち着ける場がもっとあったら良い！	12	
	でこぼこっ子のいるママたちの助けを求められる場所がもっとわかりやすくなるとよい	6	

<園・学校・療育>

G			○	☆
A	学校に関する様々なことを子どもが自由に選択できる環境	学校に行かない通学…好きな場所で授業を受ける、好きな場所でごはんを食べる	3	
		鉛筆を使わないで受けられる授業	3	
		学校の先生をサポートする方が増えたら良いと思います。	4	
		先生も子どもの立場に立って色々考えてほしい 自分の保身でなく	1	
		大人を選べる仕組み（先生など）	3	
		どなる前に先生に理由を聞いてほしい	5	
		先生が選べたらいいなー	4	
		授業の種類を10倍ぐらいに増やして選べるように	2	
		好きな授業を選んで受けられたらいいなー	3	
	毎年、子どもたち・保護者・先生のでこぼこっ子の理解を深める時間を取る	発達障害について学校で学んだり考えたりする時間があったらいいなー	2	
		でこぼこっ子の理解を学校の先生に深めてほしい	8	1
		学校にステップルームがあったらいいな…	4	
	もっと学校で校庭も使って遊ぶ時間があるといいなー		3	
	分離でなくて統合（インクルーシブ）の考えでお願いしたい		2	
	保護者支援をしてもらいたいです		2	
	給食のおかわりは、忘れ物をしてもさせてほしい		5	
	避難訓練は苦手！毎月は無理！		2	
B	好きな科目、得意なことを伸ばしてもらおう教育	嫌いな科目をしなくていい義務教育！得意を伸ばそう	7	1
		すべての子どもの個性を承認する教育を	1	
		「人」を育てる教育を！	3	
B	好きな科目、得意なことを伸ばしてもらおう教育（続き）	苦手なことを楽しくトレーニングしてくれる学童がほしい		
		オンラインの充実を！！	2	
		本当の意味で「みんなちがってみんないい」が学校に！	3	
		できないことを無理にやらせないで	2	
	校則は子どもたちが決めれる自由！		4	

	三者面談という堅苦しい制度をなくす！	1			
	給食の無償化	5			
	夏休み冬休みにも給食を！	6			
	立川市内に専門的な病院があればいいのに…遠方に行かねばならない 近い所で通いたい	1			
C	学校の多様性	学校でなくても教育を受けられる仕組みづくりを	3		
		紙に手書きではなく、タブレットやデータでのレポート・テストを OK にしてくれー！	2		
		小学校選べる① 高校は都立でもたくさん選択肢があってビックリした。 集団でも 30 名（と少ない）（多いと）先生も大変。個別、少人数（1:2～6 とか）	7		
		小学校選べる②お弁当の学校とか 給食食べれず何も食べないことも心配 お弁当持ってこれない子も心配だが			
	はじめに相談できる窓口を一つにしてほしい		8		
	かかわりのなかですりこまれていく、受け取り手がびっくりしない言葉に言い換えてくれてありがとう		1		
D	学校で息抜きできるスペース	疲れやすいのを理解してほしい	6		
		学校の中にごろっとできる場所	11	1	
		学校に和室	7		
	個性を伸ばす教育	それぞれの長所を伸ばしていく教育	6		
		インクルーシブ教育 本当の	6		
		10 人以下の授業の実施	5		
		読み書きのサポート 授業中ヘルパー	2		
	生活習慣・家庭を離れて体験する機会、多くの仲間、大人とかかわる機会、親兄弟のレスパイト、本人がほめられる機会	夏休み 長期休み体験型プログラム	10	1	
	E	選択できる教育システム（3）	学校の授業でも能力に合わせて学年もさかのぼって選べたらいいな	2	
			できないことよりできることに注力しどんどん伸ばしてほしいー	8	1
食べたい食事を食べたい量食べる			4		
給食か弁当か選択制			3		
特別支援学校に、地域の学校の子どもたちもいっしょに勉強しよう			3		
学びの方法を選択したい			4		
服装・髪型で自分を表現してもいいのでは？			2		
制服か私服が選べる			7		
本人が将来何で生活をたてていくのかを見つけられる場がほしい					

<はたらく>

G			○	☆
A	遅刻はなくせない（から） 在宅・リモート・フレックス勤務 ができる会社が増えたらいいな あ	勤務時間を流動的に決められる職場があるといいなー	2	
		服務規律のない会社	1	
B	本人に合った働き方で給料も見 合った賃金を（7）	簡単な作業ではなく、能力を生かした仕事に就きたい	4	
		家でできる仕事を職安でもっと紹介してほしい！（今の ところかなり少ない）	8	
		リモートの充実を！	2	
		農業と福祉をつなげる 豊かな働き	9	
	誰もが、困っている人に声をかけて助けてくれる社会になれば働けるのに！		5	
C	できないコトを求めない（8） 超デキルを仕事に（6 星1） ↓ ちゃんと給料を払ってほしい （8）	勤怠のありかたを固定枠ではなく柔軟性のあるスタイル にしていきたいなー	4	
		仕事を増やす 例：ヘラルボミー 特性を活かしつつ苦手をどうにかできる仕事選べるよう に	1	
		指示内容それを理解できる 言葉のまま動いてしまう	1	
D	本人に合った仕事を見つける	ワーカーズコレクティブ…働き方の多様性	7	
		企業のしやすさ	1	
		それぞれに合った仕事がある、就ける	7	
		働く場所 相談窓口 →仕事継続	3	
E	オーダーメイドの働き方をコー ディネートしてく れる人 （20 星2）	9:00~17:00 が当たり前でない勤務形態	7	
		気兼ねなく相談できる人・場所がほしい	5	
	働きたた 将来の道 事例が見 られるサイト	いろいろなケースの事例が知りたい	7	
	働く時期までに、自分の中に「人の役に立つこと&得意なこと」を見つけて、自分の力で生 き切ってほしい		4	

<社会生活・周りの理解>

G			○	☆
A	地域の学びの力を上げる	発達障がいへの理解広げる	11	
		地域住民とでこぼこっ子の勉強会	13	
		個性を尊重する社会	3	
		中村さんのお話 自治会研修	10	
		キラリ中村さんのおはなしを広めよう！	6	1
	多世代の仲間作り			
B	必要な福祉サービスの窓口を一本化してほしい！		21	
C	偏見を持たずに子どもの困りご とに	困っているのはなぜか？一人でも多く知ってもらいた い！	6	

	耳を傾けてほしい (3)	子どもの考えをしっかりと聞ける場がほしい	4	
	SNS で気軽に相談できていろいろな立場の人の支援を受けられるように (13 星1)	SNS を活用！	2	
		いろいろな年齢のいろいろなスキルがある人からの支援	6	
	発達障害のある成人に向けて、高齢者住宅のような、親亡き後に子どもが自尊心を持ちながら生活できる住まいを		6	
	リタイヤした先生方にも、今現在の教育現状を伝えるセミナー受講義務を！		6	
	多様性を認めてほしい！		7	
D	しくみを作る (5)	「お金で解決」ではなく「安心・信頼の仕組み」がほしいです	4	
		年金・補助金	3	
		特性を把握しサポーターに伝えるためにも、情報を整理する時間が必要	4	
		グループホームをたくさん作ってほしい	4	
		大人と子どもとの接触機会が多くなるように	2	
		親が死んだ後の安心感がほしい	7	1
		自分の障がいのこととか素直で正直に話せる言える受け皿があるといいな	4	
D	地域の大人は理由を知らずに怒らないように		5	
	外見で判断しないで		4	
	特性への理解をありがとう		2	
E	地域に理解のある見守り隊・コミュニティを	地域で高齢者も子どもも大人も障害のある人も気軽に触れ合える場所がほしい	5	
		人材育成！子どもサポーター、大学生、理解ある人	10	
		学校以外の居場所があるといいな	7	
		家庭学校以外に本人がほっとできる場所がほしい	8	
		外出が難しい、学べる機会を得られない子どもたちへの支援があるといいな	8	
		働く前に地域のコミュニティがあればいい	7	
		家庭以外の自分の「味方」を見つけていきたい 大人も子供も	8	2
		相談できる場所、人がもっとほしい	7	
		これらの機会の提供	1	
		障害のある子供が成人になったら、親はゆっくりできる社会に	6	
		学校に行っていない時間に出歩いても変な目で見られないといいな	11	
		障害が重い人たちも地域でずっと暮らしたい	6	
	全員に理解してもらう必要はない。理解してもらえるところを見つけて心地よく過ごしていけばよい。		2	
	子どもだけでは見つけるのが難しい…親の情報収集力大事だなあとします。		5	